



「知事とのふれあい対話」スタート！
 県民が安心できる行政を目指して

○徳之島町会場 日付:令和2年10月24日(土) 場所:徳之島町生涯学習センター

**徳之島の皆さんと
ざっくばらんに
意見交換**

初回の徳之島では、天城町、徳之島町、伊仙町の各会場で、知事が進行役を務め、限られた時間ではありましたが、参加者一人一人と、地域の現状や課題、振興策などについて、ざっくばらんに意見交換を行いました。

参加者からは、島の基幹作物であるサトウキビを若者が魅力を持てる産業にしてほしいという要望や、増加しているイノシシによる鳥獣被害対策、本土より高い輸送コストへの支援、ICTを活用した教育の支援、ドクターヘリやオンライン診療といった医療体制の整備、コロナ禍における観光振興、世界自然遺産登録に向けた取り組みなどへのご意見・ご要望をいただきました。

今回の対話で寄せられたご意見等については、担当部署で検討し、できるだけ政策に反映させるなど、しっかりと対応していきます。また、知事は、県民の皆様の声を県政に反映させるため、できるだけ早期に全市町村に出向き、ふれあい対話を開催することとしており、第2回目を昨年11月21日から22日にかけて北薩地域の阿久根市、出水市、長島町で開催し、第3回目を今月、大隅地域で開催する予定です。

○天城町会場 日付:令和2年10月24日(土) 場所:天城町防災センター

塩田知事が就任して初めての知事と県民が直接対話を行う「知事とのふれあい対話」が、昨年10月24日から25日にかけて、奄美群島の徳之島からスタートしました。

この「知事とのふれあい対話」は、塩田知事の「県民の声がしっかりと反映される県政にしたい、県民が主役の、県民の目線に立った行政を実現したい」との思いから、市町村ごとに開催し、各会場において公募などによる15名の地域住民の方々と自由な意見交換を行います。

また、より開かれた対話とするため、新型コロナウイルス感染症防止にも十分に配慮した上で、各会場おおむね100名の地域住民の方々に傍聴していただいています。



○伊仙町会場 日付:令和2年10月25日(日) 場所:ほーらい館



徳之島開催会場MAP



初回の開催地を徳之島としたのは？

離島は鹿児島県の宝であり、その豊かな自然や独自の文化などの多様で豊富な資源を活かし、さらなる産業振興を進めるとともに、住民生活の基盤整備に取り組む必要があります。中でも徳之島は、奄美大島とともに世界自然遺産登録を目指しており、現在、関係市町村、国等とも連携して、自然環境の保全に努めていること、さらに、知事自身が幼少期に生活した経験があったことなどから、徳之島を最初の開催地としました。



現地視察



徳之島ダム(天城町)の視察



障害児通所支援事業を行う「キノコにじいるクラブ」(伊仙町)の視察

知事は、このふれあい対話の機会に、10月24日(土)には徳之島町で企業や個人事業主向けの共有オフィス、障害者福祉支援施設の視察を、25日(日)には伊仙町で障害児通所支援事業所、天城町で徳之島ダムなどの視察を行いました。